

令和5年 2月3日(金) → 4月2日(日)

休館日 | 月曜日

開館時間 | 9時30分～17時00分 [入館は16時30分まで]

観覧料 | 一般 210円 [160円]、大学生等 100円 [80円]

※[ ] 内は20名以上の団体料金

駐車料金 | 最初の2時間まで1時間ごとに100円

最初の2時間を超える30分又はその端数ごとに100円

駐車台数 | 一般 26台、身障者用 2台



企画展

# 「英雄」の素顔

— 武将たちの虚像と実像 —

稀代の名将？

自己中心的な自信家？

はたしてその実態は！



## 《イベント》関連講座

- ①「源義経 – 「悲劇の名将」の誕生」  
令和5年2月18日(土)・22日(水)
  - ②「毛利元就 – 「謀将」イメージの広がり」  
令和5年3月15日(水)・19日(日)  
※時間はいずれも 10:30～11:30  
※いずれも同じ内容です。
- 【講師】岡松 仁 (下関市立歴史博物館 学芸員)  
【場所】下関市立歴史博物館ガイダンス交流室  
【定員】25名 (要予約・先着順、連絡先 083-241-1080)  
※2月1日(水) 9時30分より電話または博物館受付にて受付開始。  
【資料代】300円

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止等の可能性があります。

「檀之浦大合戦之図」(部分)

「兵法場之由来」

「一之谷鶴越逆落之図」

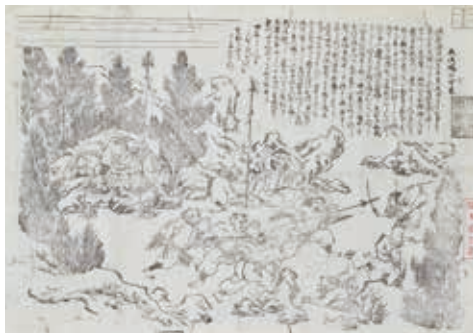
「長門国赤間の浦に於て源平大合戦平家亡びるの図」

(いずれも当館蔵)

Shimonoseki City Museum of History  
下関市立歴史博物館

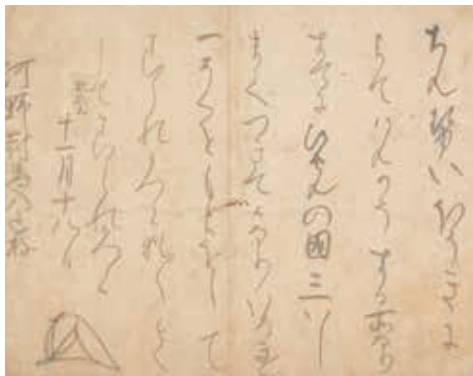
〒752-0979 下関市長府川端二丁目2番27号  
TEL. 083-241-1080 FAX. 083-245-3310





「兵法場之由来」(当館蔵)

師は烏天狗？  
謎に包まれた  
義経の半生！



足利尊氏軍勢催促状 (「筆陳」)  
(当館蔵、山口県指定文化財)

乱世の英雄？  
裏切りを繰り返した野心家？  
時代によって評価が変わる  
室町幕府初代將軍の文書！



「毛利元就所用白茶地桐竹文様綾頭巾」  
(日頼寺蔵・当館寄託、下関市指定文化財)

老獪な武将？  
家族思いの好々爺？  
老年の元就が愛用した頭巾！



「毛利元就所用濃萌葱麻地袴」  
(日頼寺蔵・当館寄託、下関市指定文化財)

両親との死別  
家臣による押領  
試練の続く幼い元就が  
身にかけた袴！

# 「英雄」の素顔

## ― 武将たちの虚像と実像 ―



源平の合戦で華々しく活躍した武将たちや、乱世において覇を競った戦国の群雄たちは、現代でも多くの人々の心を惹きつけてやみません。

平家追討を指揮した源義経は、平家滅亡後の転落や悲劇的な最期が人々の同情を誘い、その人氣は「判官最良」という言葉さえ生み出しました。しかし、高い知名度を誇る一方で、実際の義経の姿は、謎の多い前半生や合戦に関する数々の伝承によって覆い隠されています。

戦国大名毛利元就は、安芸国の地方領主であった毛利氏を中国地方の覇者へと飛躍させ、中興の祖として称えられました。元就は軍略を重視しており、そのことは元就自身の言葉で確かめられるものの、江戸時代の軍記物などの影響で、実像以上に「謀略家」というイメージが広まっています。

本展は、後世「英雄」とされた下関ゆかりの武将たちについて、物語や伝承で語られる姿を紹介するとともに、信頼のおける資料から実際の姿に迫るものです。

### 新型コロナウイルス対策中!

- マスクの着用・検温等にご協力をお願いします。
- 詳細は公式ホームページをご覧ください。

### 交通のご案内

●公共交通機関	長府・小月・宇部・秋芳・長門・西市方面行きバス	バス停「城下町長府」
JR下関駅	所要時間約25分	徒歩10分
	バス停「城下町長府」を経由する「マリンランド」または「下関駅」行きバス	
JR新下関駅	所要時間約20分	
	バス停「長府駅前」から下関方面行きバス	
JR長府駅	所要時間約10分	
●自動車	壇ノ浦方面へ進み、国道9号線経由	所要時間約20分
下関I.C	長府方面へ進み、国道2号線経由	所要時間約15分

下関市立歴史博物館

## 担当学芸員の オススメ!



下関市立歴史博物館  
学芸員 岡松 仁

- 下関ゆかりの武将たちに関わる資料を多数展示!
- 後世生み出された伝承と資料から判明する実際の姿を比較しながら紹介!

